

神秘の王朝 マヤ文明展

主催：静岡県立美術館、静岡新聞社・SBS静岡放送
後援：外務省、グアテマラ共和国、ホンデュラス共和国
協賛：JR東海
特別協力：通信・放送機構
協力：凸版印刷株式会社
会期：平成15年5月27日(火)～7月10日(木)

中米グアテマラやホンデュラスの熱帯雨林に眠る古代マヤ遺跡をつくった人々 彼らが残したマヤ文字はあまりにも独特で解読が困難であったため、古代マヤは長い間、謎の文明とされてきた。しかし、現在ではマヤ文字の約8割が解読され、考古学者たちは、マヤの歴史・社会・文明全体の特徴を見直し、従来のマヤとは全く違うマヤ文明を発見した。

この展覧会は、科学的検証と考古学的成果に基づく最新のマヤ文明の全体像を披露するものである。奇怪なマヤ文字が刻まれた石碑、繊細なタッチで絵付けされた彩色土器、宗教儀礼をしのばせる石彫など、出品作の多くが世界初公開かつ世界遺産に登録された遺跡からの発掘品であった。

また、考古学の研究成果とバーチャルリアリティの技術を組み合わせた「仮想考古学」により、802年のコパン遺跡の中心部が復元されたバーチャルリアリティシアターが上映された。

カタログ

* 構成

第1部 よみがえるマヤ王朝

第2部 コパン王朝興亡史

仮想考古学とVR技術

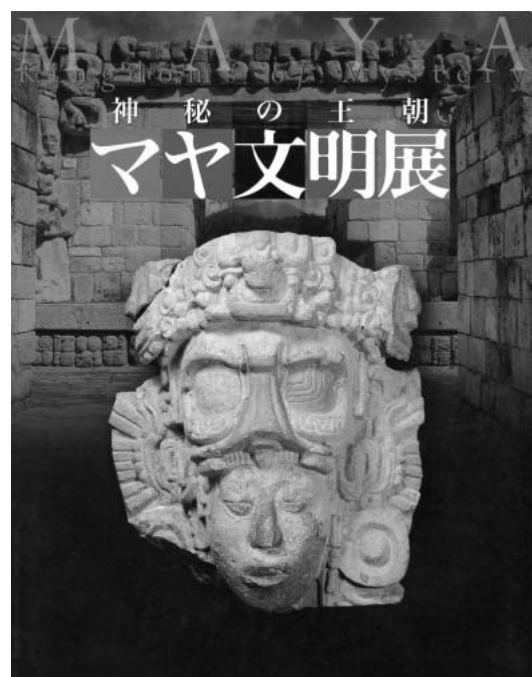
* 監修 猪俣健 (アリゾナ大学) ほか

* 246頁

出品目録 p.99参照



ポスター



カタログ